

# 技術士資格活用のための PR戦略検討について

2019年7月～2021年5月まとめ

技術士資格活用委員会 産業界活用チームPRグループ

# 技術士のToBe（あるべき姿）

- 科学技術の向上と国民経済の発展に資する（技術士法第1条）
- ↑の達成のためには、技術士資格のQCDD向上が有効

資格価値  
向上

資質向上

業務創出

正当な  
報酬

有資格者  
増加

会員拡大

ギャップ

- しかしAsIs（現状）は、

技術士の  
知名度がない

技術士の  
資質が不足

ニーズとの  
接点がない

そもそも  
業務がない

技術士資格の  
魅力がない

技術士会の  
魅力がない

- このギャップを埋めるための方策としてPR活動を戦略的に進めたい

# 技術士のAs IsとToBeのギャップを埋めるPR活動

## • 「誰に」「何を」伝えたいか

技術士を目指して知識経験を  
→若手技術者

受験要件・科目免除を  
→他資格主管官庁、試験機関

技術士を取得しよう  
→受験資格がある人

業務要件に技術士を  
→業務主管官庁

技術士を取得させよう  
→企業等の人材育成担当

自己研鑽で資質向上を  
→技術士

技術士を採用しよう  
→企業・大学等の採用担当

技術士業務に適正な報酬を  
→依頼者・雇用主

技術士に業務を依頼しよう  
→企業等の技術担当者

.....



「どのように」伝えるか

# 伝えたい「情報」を 伝えたい「相手」に伝えるために

## ・PR情報伝達の課題と資格活用委員会PRグループの取り組み

課題1  
不足しているコンテンツの追加



- 各委員会・部会・本部・支部の情報で満たせない部分
- 2019年度は資格活用の全体像のリーフレットを作成
- 2020年度は企業向けのリーフレットを作成中

課題2  
体系的でわかりやすい情報提供



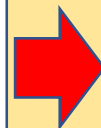
- 技術士会HPについて、HP-TFと連携
- 資格活用委員会HPでは、資格活用の観点でポータル化

課題3  
ターゲット層に届くメディアの活用



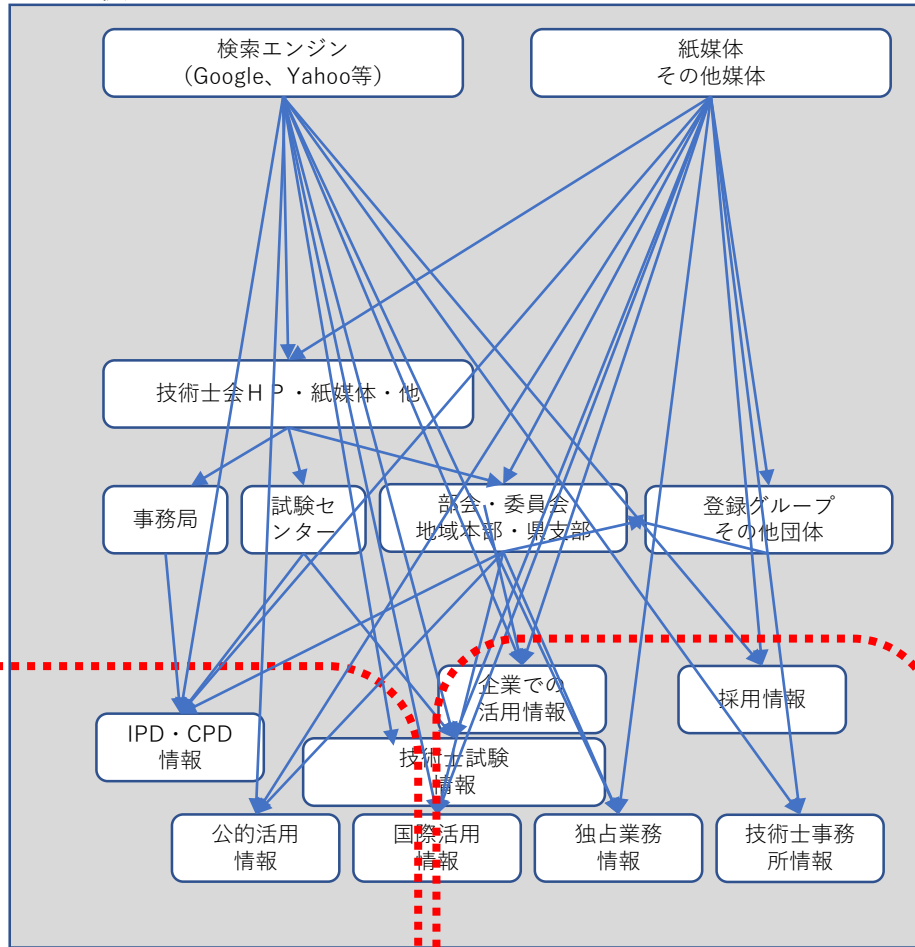
- HP、紙媒体、イベント等、各種媒体を活用する。
- SNS等の新規媒体の活用を検討する。  
(Facebook, Twitter, Instagram, Youtube, Noteなど)
- 技術士会以外が保有する情報の活用を検討
- 「技術士」を知らない人が「技術士」の情報にアクセスしたくなるような仕掛けの検討  
(動画へのリンク貼り付けなど)

課題4  
「技術士」の知名度向上



# 資格活用に関する情報のAs IsとToDo

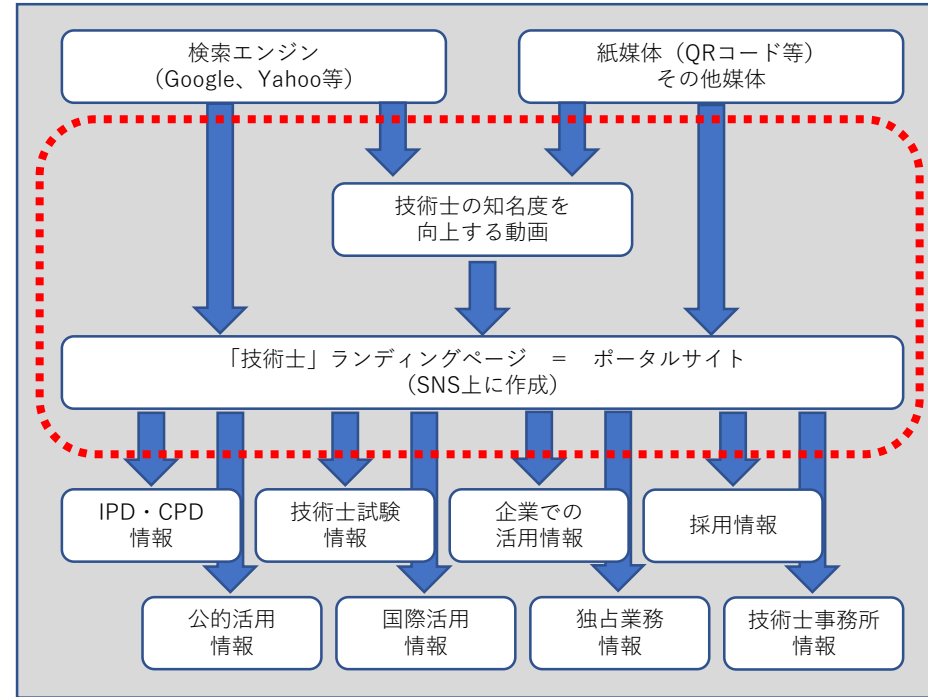
現状



この辺の情報には、頑張ればたどり着けるけど、難しい  
→委員会HPをポータルとして、技術士会HP内情報へのアクセスを良くする。

この辺の情報は、発信者・需要者、双方の努力で細かい繋がりはあるが、普遍性は無く、偏りのある情報しか得られていない

望ましい姿の例



「技術士資格活用促進」のための情報アクセス性向上策でできること

- ・技術士について、知りたい情報は、会の外部にも点在している。
- ・活用促進のPRは、技術士会内部の仕組みだけでは限界がある。
- ・技術士会のHPなど、会の内部の情報整理は、継続して進める。
- ・不足している情報（企業活用など）は、紙・Web・其他媒体を問わず、コンテンツ作成を継続して進める。
- ・会の内・外を問わずに「技術士」に関する情報のハブになる仕組みが不足している。  
→だれが作る？文科省？技術士会？個人？任意団体？外注？

# 今期の資格活用PR活動（産業界チーム）

テーマ	今期の具体的活動
コンテンツ作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>大学、企業へのヒアリング</b>を通じ、資格活用の事例や実態を調査。PRの基礎データとする。</li> <li>• リーフレット第1弾、<b>資格活用の全体像</b>の概観版を作成した。</li> <li>• リーフレット第2弾、<b>企業向けリーフレット</b>を作成する。</li> <li>• 紙以外の媒体向けのコンテンツ作成を検討する。</li> </ul>
HP検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資格活用委員会HPをハブとして、技術士会HP内の資格活用に関する情報の検索性向上する<b>リンク集ページ</b>を作成した。</li> </ul>
マスメディア活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 技術士の知名度向上を目的とした<b>ランディングページ</b>作成検討。</li> <li>• ランディングページに誘導するための<b>動画の作成</b>検討。 ターゲット層が視聴する<b>各種メディア</b>に動画掲載</li> </ul>

**ランディングページ**： 技術士について何かを知りたいと思った人が最初に訪れるWebページ。ここをポータルサイトとして、知りたい情報が実際に掲載されているページに誘導できる。

**動画をみせるためのメディア**： Youtube、InstagramなどのSNS等、イベント等でのスクリーン上映、この動画にアクセスするためのQRコードを掲載した紙媒体、他。